



ぼらんていあ通信

No.429

2017年8月22日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp <http://sagamiva.wordpress.com/>



ボランティア活動人第一歩

二〇一七年度ボランティア養成講座最終回

「基礎講座 第三日目」

七月二十一日(土)

市民会館第二大会議室

午後一時半～四時半

◎講演 障がいって何?

障がいって何?

講師 谷内孝行先生(桜美林大学専任講師《障害者福祉》・特定非営利活動法人「ピアネット」北事務局長)

基礎講座の最終回が受講生の熱気に包まれて始まった。講師の谷内先生は先天性の視覚障がい者(弱視)で色の感覚が全くない(全色盲)ということ。自身の障がいから話された。

視覚障がい者のうち全盲の人は二割で、七割八割の人は弱視である。障がい者が町へ出て(社会生活で)困ることは、町には危険がいっぱいあると数枚の写真で示された。

「障がいって何?」と先生から問われて会場の皆は考えた。医学的には障がいの原因は病気やケガ等個人にあるが、考え方を変えようと障がいの原因は



谷内孝行先生

多くが社会環境によって作り出される。

「バリアフリーって何?」バリア(障壁)には物理的バリア(道路の段差や電車とホームの間のすきま等)、制度や文化情報のバリア、心理的バリア(思いこみから生れる差別や偏見等)がある。バリアフリーとは障がい者や高齢者等が社会生活をする上で支障となる物理的や精神的な障壁を取り除いた状態をいう。心のバリアフリーに向けて①相手に関心を持つ②相手のことを正しく知る③相手のことを理解して行動する、そしてさらに周りの人にそれを広めることが大切である。

最後に先生から「ありがとう」が飛び交っている世界が福祉の世界です。福祉の現場では「ありがとう」という言葉が皆さんを待っています!とエールを贈られて終了した。

そのあとコースの活動内容と講座の説明があり、秋から各コースで専門的な知識を身に付けてボランティア活動に入られることと思う。

以下のコースが開催。視覚障がい者への援助(外出援助・音声訳・拡大写本・点訳)、福祉車両の運転・介助、高齢者支援の六コース。受講生三十名。(三十尾)



Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

藍田 みつ

私は今、施設で生活して居ります。
今迄に知らなかった老人社会のことを知って、自立することが大切であるということを感じました。

今思ふことは、ボランティア協会に御縁があったて入会して社会の勉強になったことです。世の中には助けを求めている方々が大量にいらっしゃいます。微力ですが、手伝いができたことは喜びでした。平和であることが何より大切な事と考えさせられる、原爆・終戦の日です。

今は老いて活動も出来ずに過して居りますが、皆様のご活躍をお祈りして居ります。

細かいことは気にしない、

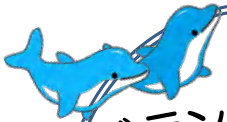
気にしてる暇なんてない



なお

《今月のイラスト
...がんばるぞ!》

毎月、楽しいイラストを描いてくださっている山口尚美さんの個展が、開催中! 詳細は8頁に掲載しています。



ボランティア協会 2017 年度の組織体制と担当責任者が決まりました

理事会

会長	高橋功
副会長	町田紘一
副会長	吉留 勉
理事	石関清美
理事	小野明雄
理事	杉本榮治
理事	鈴木秀美
理事	田所 雅

委員会

総合企画委員会	管掌理事 高橋功 委員長 西本 敬
ハンディキャップ委員会	管掌理事 杉本榮治 委員長 加藤修
講座検討委員会	管掌理事 鈴木秀美 委員長 西本敬
事務局委員会	管掌理事 小野明雄 事務局長 同上
広報委員会	
傾聴委員会	管掌理事 石関清美 委員長 西本敬



今年度は広報委員会が
3部会から構成されます。

ぼら通部会	管掌理事 石関清美 委員長 小林瑞枝
情報部会	管掌理事 杉本榮治 委員長 町田紘一
わくわく部会	管掌理事 高橋功 委員長 小倉義男

監事
小川紀江
勝部幸三

*会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。



9月の記念日は？

小倉義男

9月 15 日、関ヶ原の戦いがあった日です。
昔は敬老の日でしたが、今は敬老の日が月の第三月曜日に移ったので、関ヶ原の戦いの日として覚えておきましょう。(^^)

徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が関ヶ原（現在の岐阜県）で当時の日本を二分する戦いを行いました。結果は東軍の勝利に終わり、徳川の覇権が確立。「天下分け目の戦い」とも言われています。



小倉画

クイズに挑戦

昭和なつかしクイズです。

①昭和が始まったのは、西暦何年？

ア 1868年 イ 1912年 ウ 1926年

②昭和三十三年に完成した東京タワー。タワーが建てられた場所は何処だった？

ア 首相官邸 イ 墓地 ウ 自衛隊駐屯地

③昭和三十三年、日清食品が発売したインスタントラーメン第一号の「チキンラーメン」。当時の値段はいくら？

ア 5円 イ 35円 ウ 105円

④昭和四十六年、日本に初上陸したマクドナルド。第一号の店舗はどこにつくられた？

ア 上野 イ 新宿 ウ 銀座

⑤昭和最後の日である昭和六十四年一月七日は何曜日だった？

ア 水曜日 イ 木曜日 ウ 土曜日

ア 水曜日 イ 木曜日 ウ 土曜日

ア 水曜日 イ 木曜日 ウ 土曜日

ア 水曜日 イ 木曜日 ウ 土曜日

ア 水曜日 イ 木曜日 ウ 土曜日





矢口さんの脳トレの話に全員
必死に、真剣に聞き入る！

です。脳トレす
ね。矢口さんから
「ずっと健康でい
られるためにウォ
ーキングや百歳体
操をやっている方
は？」との問いに
どちらも数名の手
が挙がりました。
貯金じゃなくて貯

ボランティア活動グループ訪問記



おしゃべりサロン「さくらんぼ」

いつでも自分で行きたい所に行ける
身体でいるために、のびのびと健康寿命！！



梅雨明けを思わせる暑い日が毎日続いています。
七月十四日(金)午前中、田名公民館で毎月一回開
催しているおしゃべりサロン「さくらんぼ」におじ
やしました。広報委員勝部さんの車で小林さんと
三名、水郷田名行きのバス通りを上田名にある田名
公民館目指して直進。田名と言えはまず思い出すの
が五月の泳げこいのぼりと八月の花火大会ですね。
相模原駅から続くこの道はとても混みます。

私たちが到着したときロビーに「さくらんぼ」の
代表・篠崎さんと若重さんが出迎えてくださいまし
た。今月は田名高齢者支援センターの矢口さんがい
らして体力測定と健康についての学習会です。会場
では二十数名の参加者が体力(握力)測定を終えた
ところでした。次は腕と指の運動、左右で別の動か
し方をさせるのはやさしくても難しい。間違っても
いいそうです。脳が刺激されて活性化に役立ちそう

筋をしましょう！毎日少しずつコツコツと生活の中
に取り入れて行きましょう！いすに腰かけたままでも
できますよというお話でうなずいている方が多かつ
たです。

認知症になら
ないためにはど
うしたらいいで
すかという質問
には「ずっと元
気で現役でいる
ことが大事です
よ。気になった
ら脳外科や物忘
れ外来のある病
院で調べてもらって安心するのがいいですね」との答
えでした。



「最近調子はどう？」と互いに話題を交換
おしゃべりが止まらないサロンがしら〜！

田名地域はとても広く、地区社協の資料によると高
齢者向けのサロンが地区ごとに九か所開かれていま
す。今回伺った「さくらんぼ」は最も歴史が古く、平
成十二年に三回の講座を開いて五月十一日に第二回
目の会を開いたそうです。最初から携わっておられる
方は二名で、その内の一名若重さんは高齢者支援ボラ
ンティアグループ・シルバー友の会の仲間で、以前か
らよくお話を伺っていて一度訪問したいと思っていま
した。現在は七名(今日は六名)のボランティアで
運営していて、おしゃべり、お花見、学習会、芋煮会
クリスマス会等バラエティに富んだ活動をしていま
す。毎回二十数名が参加されるそうです。皆さん公民
館まで自力で来られる方でお元気でおしゃべりな方た
ちでした。いつまでも身に付けるものに気を配ってお
しゃべりにくい人は若重(元氣)のもじりから



矢口さん(前列中央)を囲んで、「さくら
んぼ」の運営ボランティアさんたち

ね。八月はお休みで次回は九月八日(金)です。
帰宅してからいただいた資料を見ながら片足バラ
ンス立ちをタイマー片手にやってみました。今日どち
らで体験したことはこれからの日常生活に大変役立
つと思います。ありがとうございます。
ごさいました。
(勝部・小林・三十尾)

*おしゃべりサロン さくらんぼ

代表 篠崎幸子
場所 田名公民館
日時 毎月第二金曜 10時~11時30分
参加費 100円
お問い合わせ 田名地区社会福祉協議会
電話 042-761-0056



クイズの答え

- ①は③の1926年。昭和元年は十一月二十五日から
始まったので、実質七日間しかなかったのですが。
 - ②は①の墓地。
 - ③は①の35円。
 - 85グラム入り35円で販売されました。当時の物
価は封書10円、はがき5円、バス代15円、風呂
代16円なので、35円という、結構高価だった
ようです。
 - ④は③の銀座
 - ⑤は③の土曜口。
- つまり平成は日曜口から始まりました。



ほらんていあ♡ほらんていあ (二)
【ミニ・ポップ】オカリナグループ

私達のオカリナ演奏は、現在一名でボランティアの活動をしているグループです。始めてから十年以上になり、延べ二百回以上の施設訪問になりました。訪問先は主に、高齢者施設、障がい者の施設ですが、グループ活動をしている団体のクリスマス会等にも お声がかかれは出かけます。担当する時間により、内容の組み立てをし、童謡、唱歌、ナツメロ、民謡、アンサンブルなど、季節に合わせた曲を選び、遊びを取り入れ、手腕、足など身体を動かして、大きな声で歌い、踊り、笑いを誘い、『笑顔』をモットーに、皆が一緒に『共に楽しむ』をテーマに行動しています。百人以上の会場でも、十名前後の施設でも、皆様の顔を見ながら、私達は楽しく活動しています。

毎回、私達の家の庭や畑で季節の花々、旬の野菜などをバケツや紙袋に入れ持参していきます。みんなに昔を思い出してもらって、花の香りや美しい花の色合いを楽しんでもらいながら、野菜の調理方法など、主婦どうしの会話で盛り上がる時もあります。

「南京玉すだれ」など、動きを取り入れる時は講習を受け、不要になった着物地や帯で、頭巾、羽織、を自分達で作り、演技などを披露しながら、参加者の一人、二人を演技のなかに入ってもらったり、遊んだり、更に、手作りの「花笠」や、長い「しめ縄」などを使って、皆さんの手に持って頂き、曲に合わせて歌い、踊って楽しんで頂いています。無地



オカリナ演奏中



南京玉すだれを参加者へ

- 清泉の里（老健施設）
○シンフォニー
○さがみ緑風園
○あじさいの会（難病の会）
○相武台病院デイサービス病棟
○地区のイベント、サロンやミニリハなど

主な活動



のうちに、絵を描くのが好きな夫に、犬、猫、豚等々、描いてもらい、うちに描かれた動物の鳴き声を曲の中で、皆さんに、鳴いてもらったりして、一緒に私達も楽しんでいきます。

開始時には、下を向いて黙っていた方が、最後は笑顔で「また、来てね」「良かったよ」「握手してね」と言ってお礼の言葉を聞くと私達も、明日への活力を頂き、頑張る気持ちが湧いてきます。

私達は、仕事、孫の世話をしている六十歳代の多忙な主婦ですが、時間を合わせて練習をし、予定を組んでいます。そして「ライフワーク」として長く続けていけるように、努力をしていきたいと思っています。

連絡先 中村

理事会報告

八月二日（水）十三時半から（理事八名）

- ◆広報委員会
・「わくわく」は九月二十九日発行予定で検討中。
・新ホームページ、更新の担当等を決める。
- ◆ハンディキャップ委員会
・十号車更新の方針を南の関係者へ説明の予定。
・養成講座等により三名の運転ボランティア希望者があった。
- ◆事務局委員会
・正会員、利用会員の更新手続き未処理の実態調査を実施した。
- ◆講座検討委員会
・来春一月十五日、二十日、二月一日に南区で傾聴講座実施を決定。
- ☆審議事項
・事業準備金預け入れの郵貯口座を定額預金複数口座とするに決定。
・HCC運転ボランティアの定年を原則七十五歳健康状態により七十九歳迄延長可とする方向で検討。
・理事のつばやき廃止を決定。今後のほらんていあ編集方針は九月の広報委員会にて検討する。
・南交流フワンジ事業はHCC体験実習で参加を申し込む。
・協会の委員会組織表の最終確認を行った。
・高齢者免許返納促進に関する相模原署からの協力要請については、当協会の協力のあり方を今後総合企画委員会にて検討する。
・ホームページに公開する事業報告を掲載する。

イベント情報

シニア世代の地域デビュー

「ふれあいカフェ」

日時 十月三日(火)午後一時半～二時半

場所 中央公民館

(中央区富士見二の二三の二)

内容

講演：健康寿命を延ばすお口の体操

講師：健康運動指導士 原 眞奈美氏

※講演終了後、キーキパーティーを

予定しています。

参加費 二〇〇円

申込方法 事前申込者優先、

左記へお申し込みください。

申込み・問合せ

中央地区社会福祉協議会

Tel: 042-758-0130

担当：鈴木・安藤

はやぶさカフェ

日時 毎月第一・四金曜日

(午前二〇時～午後二時)

場所

第二金曜日：かめだていけやきクリニック

会議室(中央区鹿沼台二の一八の六)

第四金曜日：スペースカフェ銀河

(中央区淵野辺四の二三の五)

内容 気軽に立ち寄れる憩いの場、日常

のちよつとした困り事も相談できます。

問合せ先 大野北地区社会福祉協議会

Tel: 042-861-4512

年に一度の感謝祭！

日時 九月二十五日(月)～十月七日(土)

午前十時～午後五時

場所 あじさい会館一階

内容 ハンドメイドショップ「パオパブ」

市内施設、作業所に通われている

ハンディキャップを持つ方達が、

様々な活動で作った作品を、期間

中一〇〇OFFで販売いたします。

(雑貨や美味しいお菓子等)

問合せ先

ハンドメイドショップ「パオパブ」

Tel 042-757-6772

～飲食店専門の酒屋さん～

■ヤギ・リカーズとは

飲食店専門の酒屋です。外食をもっと楽しく、特別なひと時にしたい。そんなお客様の想いは、私たちヤギ・リカーズもまったく同じです。但し、その「想い」はありふれた物の中で見つける事がとても困難。

例えば、弊社が取扱っている輸入洋酒は1500種を越え、ワインの取扱い数も数え切れないほどあり、そして、人数限定イベントや試飲会情報などの配信。

これら貴重な情報と商品を、大事なお客様に伝え、使って頂きたい。



八木 健芳さん

相模原市で活躍する会社紹介

(有) ヤギ・リカーズ

代表取締役 ^{やぎ かずゆき} 八木 一之 さん専務取締役 ^{やぎ たけよし} 八木 健芳 さん(38歳)

(公社)相模原青年会議所 委員長

設立：1991年7月

本社：〒252-0344

相模原市南区古淵2-2-16

電話 042-756-5230

FAX 042-756-5138

E-mail: takeyoshi@yagi-liquors.co.jp

URL: <http://www.yagi-liquors.co.jp/>

業務内容

酒類配送業務

- ・飲食店酒類配送
(配送エリア内は送料無料)
- ・イベント会場への現地酒類配送
- ・個人消費者への酒類配送

イベント・企画業務

- ・お酒に関するイベントの企画
(試飲イベント・お酒の講義等)
- ・お酒関係の催事
- ・まちおこし企画

お酒のことなら何でもご相談ください！

■弊社は相模原・町田を中心に、飲食店さま専門の酒屋を営んでおります。珍しいお酒、入手困難なお酒、高級なお酒など、約3000種の酒を取扱っている市内屈指の酒販店です。当日の配送も無料で承ります。是非ご利用、ご連絡ください。

南地区で「移送ボランティア養成講座」開催

「ボランティアセミナー」でもハンディキャブ活動を紹介

去る7月12日(水)、東林公民館で「東林いきいき塾“移送ボランティア養成講座”」(主催:東林地区社会福祉協議会)が開かれました。福祉車両(11号車)の操作説明も含めハンディキャブ活動の紹介を行い、活動への参加を呼びかけました。その結果、受講者の中から1名の方が活動に参加されることになりました。講師として吉留副会長・杉本理事・児玉ハンディキャブ委員が担当しました。

その翌日の7月13日(木)には、南保健福祉センターで行われた「ボランティアセミナー」(主催:南ボランティアセンター)で、同様にハンディキャブ活動の紹介を行いました。

ハンディキャブだよ

このポスターは、各主催者団体より提供していただきました

東林いきいき塾

移送ボランティア養成講座

<ハンディキャブ号運行ボランティア>

日時 平成29年7月12日(水)
午後1時30分～午後3時30分

会場 東林公民館 1階 ホール

講師 特定非営利活動法人
相模原ボランティア協会

◆講義 午後1時30分～
～必要性と現状～

◆操作実習 午後2時30分～
～車いすと福祉車両の操作実習～

対象 テーマに興味関心のある方 10名(先着順)



お問合せ・お申し込み

東林地区社会福祉協議会(平日9:00～17:00)電話 744-5187

ボランティアセミナー

初心者大歓迎!

★ボランティア活動してみたい
★自分に出来ることで役立つことをしたい
★自分の地域をちょっとよく知りたいたい!

特別な技術や資格はいらないよ!おんなのハートが一番大事なんだ!



◆日時: 7月13日(木)
午後1時～3時30分

◆場所: 情報交換ルーム
(南保健福祉センター2階)

◆内容: ボランティアってなあに?(基礎編)
南ボランティアセンターの活動紹介 など



★申込み・問合せ★相模原市社会福祉協議会
南ボランティアセンター ☎042-765-7085

車両整備

10号車

ガタガタ音解消

昨年11月頃から、10号車のリフト付近から比較的大きな「ガタガタ音」が出始めました。その後業者による点検など行ってきましたが、はっきりとした原因を特定できませんでした。

本年4月になって、東原さんによって「リフト床面に収納されている車いす固定用フックが、車の振動で収納スペースの底板に当たる音では?」との推定の基に、収納スペースの底板にスポンジを貼りました。

その後現在まで「ガタガタ音」は完全に解消されました。



仲間

ハンディキャブ委員会に参加して

ひであき 児玉英明(平成29年7月)

今年の初め、ハンディキャブ委員会の方より要請を受けて、委員会のメンバーとして参加することになりました。運転者の立場で少しでも問題の共有化や情報交換などできれば、と、微力ながら協力したいと思っています。

現在、委員会では大きなテーマ(課題)がいくつかありますが、その一つに私を含め運転者の高齢化により、交替要員の不足が上げられています。近年高齢運転者による交通事故が多発しており、当協会としても他人ごとではなく、若い運転者の参加が喫緊の課題となっています。

報道によると、75歳以上の運転免許保有者は昨年末時点で、513万人。10年前の2倍とのこと。また、死亡事故のうち75歳以上による事故の割合は、2010年時10%が昨年は13.5%に増加しています。

このような背景などもあって、去る7月12日東林公民館において地区社協のご協力のもと、「東林いきいき塾:移送ボランティア養成講座」が開催され、何人かの方が参加されました。新会員の入会を願っています。

今後、公的福祉サービスの現状を考えると、ハンディキャップのある高齢者の移動困難者が増加することが予想されます。当面はそのような方々に少しでもお役にたてるよう、残り少ない任期ですが、一人のボランティアとして活動できればと思っています。

地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL9

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

交流の家「ぶらっと上溝」にぶらっとお寄ください。

上溝地区社会福祉協議会 磯 隆司会長

★平成 29 年 4 月 1 日現在
人口 33,818 人
高齢化率（65 歳以上） 24.3%
年少人口率（14 歳以下） 13.5%



「気軽におしゃべりができる場所があるといいよね」と上溝地区では「ふれ愛・ささえ愛のまち上溝～おせっかいの仕組みづくり～」をテーマに取組を検討してきました。

まずは、交流ツールとして地区の人たちで木製ベンチを 19 脚作成して各自治会に配布。そして、平成 28 年 5 月に「みんなが集える場」「相談ができる場」として交流の家「ぶらっと上溝」をオープンしました。週に 5 日（月・火・水・金・土曜日）開所し、お茶を飲みながらおしゃべりなど気軽に過ごせます。また、こどもキッチンや健康マージャン、絵手紙、法律相談など“誰からも愛され親しまれる居場所”を目指してさまざまな活動に取り組んでいます。



連絡先：市社協 上溝地区担当 岡田愛実 TEL042-704-6275

“ちょっとした困りごと”ありませんか？ サポーターがお手伝いします！ 大野中地区社会福祉協議会 伊藤重俊会長

★平成 29 年 4 月 1 日現在
人口 62,613 人
高齢化率（65 歳以上） 26.1%
年少人口率（14 歳以下） 12.4%



「暮らしの中のちょっとした困りごと」を身近な住民同士で解決することを目的として、平成 28 年 4 月に「おおのなかボランティアセンター」がオープンしました。

現在は大野中地区在住の高齢者で介護保険や福祉サービスでは対応が難しい方を対象とし、サポーターとして登録している 33 名が、日々の依頼に対応しています。

依頼内容は「病院の付き添いをしてほしい」、「草むしりをお願いしたい」など様々です。

また、ボランティアセンターでは一緒に活動してくれる仲間（サポーター）を募集中。依頼された方の喜びの笑顔と「ありがとう」の言葉がスタッフの活動の糧となっています。

【おおのなかボランティアセンター】

相談受付日：毎週火曜日・金曜日 午前 10 時～午後 1 時

電話・FAX：042-733-6690

連絡先：市社協 大野中地区担当 黒沢江里華 TEL042-765-7065



ボランティアさん募集！

本のルビ（ふりがな）振り

識字障がいがあり、漢字を読むことが苦手な方のために、本のルビ（ふりがな）を振る活動です。ご自宅でできます。

頻度：ご自身のペースで1～2ヶ月に1冊



～ほかほかふれあいフェスタ2017 10月14日(土)開催～ ボランティアさん大募集!!

- | | | | | |
|--------------|-----|-----------|-------------|-------------|
| ① 展示の準備 | 5名 | 10月13日(金) | 18:00～21:00 | あじさい会館6階展示室 |
| ② スタンプラリー受付 | 4名 | 10月14日(土) | 9:00～16:00 | あじさい会館1階ロビー |
| ③ ホールの準備、手伝い | 5名 | 10月14日(土) | 8:30～15:30 | あじさい会館ホール |
| ④ 広場のテント設営 | 10名 | 10月14日(土) | 8:00～8:30 | ウェルネス前広場 |
| ⑤ 広場のテント等片づけ | 10名 | 10月14日(土) | 15:30～17:00 | ウェルネス前広場 |

②③は半日でもOKです!! 皆様、お手伝いよろしくお願ひしま〜す!



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

お知らせ

「何気ない毎日が幸せ」を実感!

毎月、楽しいイラストを描いてくださっている山口尚美さんの個展が、小田急線読売ランド前の「ムビリンゴ」というアジアンダイニングのお店で開催中です。さっそくお邪魔しました。

「何気ない毎日が幸せ」というタイトル通り、日常のちょっとした「ママが丁寧に描かれていて」「ああ、そっねー」と、思わず笑みがポツンと浮かぶようなイラストをたくさん描かせていただいたイラストも!

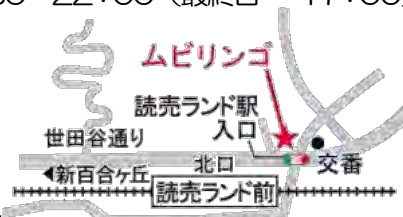
皆さまも、タイやベトナムのお料理と一緒に、山口さんのイラストの世界を是非楽しんでみてください。

なお、展示は八月三十一日までで、定休日は月曜ですが、他イベント開催の日もあるので来店の際は問い合わせをお願いします。(恒藤)



Cafe & Dining Bar ムビリンゴ
044-299-6858

8.1～8.31 月曜定休
11:30～22:00 (最終日～17:00)



編集後記

毎夏、シルバークの会の女性と橋本男性ボランティアの会の仲間が、上溝のティサービスで納涼祭のお手伝いをしています。

上溝祭りで活躍したおはやしの子供たちの演技を見ながら、かき氷やたこやきのものを店を担ぎ、私にとっての夏の風物詩…。

(三)